

別表:個別施設の方向性

	名称	建築年	経過年数 ※2015年 現在	方向性	時期	参 考				
						現有機能	管理運営状況	利用状況	●課題・☆検討内容	
1	【社会教育の拠点】 総合市民会館	昭和56 ・ 1981	34	存続	耐震 改修 及び 施設 改修 検討	A	公民館 市民 活動拠点 憩の家 防災拠点	<ul style="list-style-type: none"> ●総合市民会館と総合体育館は一体的に市直営で運営 ●公の施設の使用料のあり方に定める使用者負担割合は50% ●維持管理に係る経費31,768千円に対し、使用者負担想定額は15,884千円 ●収入額(減免前)は、15,880千円で、使用者負担想定分を満たしている(100%) 	<ul style="list-style-type: none"> ●老人福祉センター・中央公民館・勤労青少年ホームも、各部屋の稼働率は20%台までが殆ど ●老人福祉センター・勤労青少年ホームでは生涯学習グループの利用が約70% ●中央公民館の利用は、生涯学習グループが約45%市が約30% ●時間帯によって50%を超えるのは6部屋のみ ●老人福祉センター:第2教養娯楽室・大集会室・美術工芸室 ●勤労青少年ホーム:軽運動室・集会議室・音楽室 ●年間稼働率が50%を超える部屋は老人福祉センターの第2教養娯楽室のみで、最高値は58.0%(H24) ⇒平日9時～16時の囲碁将棋の個人利用によるもので、同じ広さを持つ第1教養娯楽室は殆ど利用がない 	<ul style="list-style-type: none"> ●耐震補強工事が必要 ●設備の更新時期の検討が必要 ●拠点施設として、機能(公民館・市民活動拠点・公共的な施設への貸部屋)の集約ができるよう、老人福祉センター・中央公民館・勤労青少年ホームの区分を排除し、施設の有効利用を考える <p>【次期総合計画基本計画期間中(～H32)に実施すること】 ☆機能集約対象施設利用者の調整(1年以内) ☆事業計画の策定(3年以内)</p>
2	【社会教育の拠点】 総合体育館	昭和55 ・ 1980	35	存続	耐震 改修 検討	A	公民館 市民 活動活動 防災拠点	<ul style="list-style-type: none"> ●競技場は60%を超える稼働率を維持しており、平日は12:00～13:00・16:00～17:00を除いて殆ど利用されている ●競技場の土日の利用は終日ほぼ50%を超える ●競技場は土日・平日に関わらず、9:00～11:00・13:00～15:00・19:00～21:00は80%を超える ●研修室及び武道場の17時以降の稼働率は80%を超える ●会議室・指導員室の利用は10%に満たない ●利用者は、体育協会が約50%、生涯学習Gが約35% 	<ul style="list-style-type: none"> ●耐震補強工事が必要 ●バリアフリー工事が必要 ⇒手法を検討 ●設備の更新時期の検討が必要 <p>【次期総合計画基本計画期間中(～H32)に実施すること】 ☆事業計画の策定(3年以内)</p>	
3	【社会教育の拠点】 図書館	昭和63 ・ 1988	27	存続	改修 検討	A	市民 活動拠点	<ul style="list-style-type: none"> ●市直営で運営 ●公の施設の使用料のあり方に定める使用者負担割合は10% ●維持管理に係る経費25,519千円に対し、使用者負担想定額は2,552千円 ●収入額(減免前)は、78千円で、使用者負担想定分の3% 	<ul style="list-style-type: none"> ●展示室の利用は全室利用・部分利用を含めても20%に満たない ●図書館施設なので利用時間帯は10時～18時 	<ul style="list-style-type: none"> ●総合市民会館・総合体育館と一体の施設となっていることから一体管理の可能性も考えられる ●総合市民会館の改修時に、2階ギャラリーを含めた有効利用の検討が必要 ⇒ただし、貸出をしている部屋は展示室のみであり、施設の一部である点には配慮が必要 <p>【次期総合計画基本計画期間中(～H32)に実施すること】 ☆事業計画の策定(3年以内)</p>

別表:個別施設の方向性

	名称	建築年	経過年数 ※2015年 現在	方向性		時期	参考			
							現有機能	管理運営状況	利用状況	●課題・☆検討内容
4	大竹会館	旧館	昭和38 ・ 1963	52	廃止	一部 機能 を新 館へ 移転	A	支所 公民館 市民 活動拠点 防災拠点	●各部屋の稼働率は10%台が殆どであり、0%の部屋もある ●時間帯によって50%程度の稼働率があるのは第3研修室の平日の10:00~12:00のみ ●年間稼働率の最高値は、第3研修室の20.8%(H25)	●バリアフリー未対応 ●H27.12までに、耐震診断の実施及び公表が必要(建築物の耐震改修の促進に関する法律) ●解体しない場合は、耐震補修工事が必要 ●解体の場合は、利用者調整・解体時期などのスケジュール作成や跡地利用・支所のあり方の検討が必要 ⇒年間稼働率が最高の第3研修室の利用は殆どが生涯学習グループによる講座 【次期総合計画基本計画期間中(～H32)に実施すること】 ☆利用者の調整(1年以内) ※新館への移転が困難な機能は、総合市民会館・コミュニティサロン元町その他の施設の利用を検討 ☆事業計画の策定(2年以内) ☆支所機能は、他の支所と合わせあり方を検討(2年以内)
		新館	昭和59 ・ 1984	31	存続	改修 増築	A	宴会・ 結婚式 結婚式場	●大竹会館・アゼリアホールを一体として市直営で運営 ●新館と旧館の一部はエスポワールおおたけに運営を委託している ●公の施設の使用料のあり方に定める使用者負担割合は50% ●維持管理に係る経費22,645千円に対し、使用者負担割合は11,323千円 ●収入額(減免前)は、6,459千円で、使用者負担割合を満たしていない。	●稼働率は10%台である ●時間帯別で見ても高い稼働率でも30%程度 ●年間稼働率では、大集会室が最高値19.8%(H25)で、利用者の形態はさまざま ●結婚式場の需要はほぼない ●唯一の懇親会のできる会議場である ●エスポワールおおたけに運営を委託している部屋は旧館にもあるため解体する場合は調整が必要 ●館の運営についても検討が必要 【次期総合計画基本計画期間中(～H32)に実施すること】 ☆機能集約対象施設利用者の調整(1年以内) ☆事業計画の策定(2年以内)
5	アゼリアホール	平成2 ・ 1990	25	存続	改修	A	公民館 市民 活動拠点 防災拠点	●施設全体の稼働率は20%未満 ●講堂(体育館)及び第1研修室の最も高い時間別稼働率は80%程度で、19:00~21:00に利用が集中。 ●講堂(体育館)及び第1研修室の利用は連動する傾向にあるが、利用者は同じではない ●年間稼働率で見ると、講堂(体育館)と第1研修室が最高値20.0%(H23)	●一定規模のキャパシティを持つ唯一の劇場型ホールであるが、体育館と文化会館の併用であるため、文化専用ホールを望む声がある ⇒現在の講堂(体育館)の利用は、運動目的が主 ●新耐震基準の建物であるが、天井が落下する危険性が指摘されている ⇒速やかな対応が必要 ●旧館を解体し、一体利用する場合は、管理方法を再検討 【次期総合計画基本計画期間中(～H32)に実施すること】 ☆機能集約対象施設利用者の調整(1年以内) ☆事業計画の策定(2年以内)	

別表:個別施設の方向性

	名称	建築年	経過年数 ※2015年 現在	方向性		時期	参考			
							現有機能	管理運営状況	利用状況	●課題・☆検討内容
6	小方公民館	昭和57 ・ 1982	33	廃止	機能 変更 検討	A	公民館	●市直営で運営 ●公の施設の使用料のあり方に定める 使用者負担割合は50% ●維持管理に係る経費7,473千円に対し、 使用者負担想定額は3,737千円 ●収入額(減免前)は3,466千円で、使用 者負担想定分をほぼ満たしている (92.7%)	●調理実習室の年間稼働率は5%台まで、その 他の部屋も10%台の稼働率 ●時間帯別では、第2研修室は平日19:00~21:00 (約60%)、土日14:00~16:00・19:00~21:00(55~ 70%)に利用が集中	●岩国大竹道路建設用地には当たらないため、体育館と切り 離された状態の建物が残る ●小方地区には集会所がないため、地域住民は公民館を利用 している ⇒約20%の利用率は他の公民館の倍 ●国道より山側に広場整備の要望あり ⇒地域住民が集まれる場所として地域が必要とするかを地域 住民と協議・検討 ●エレベータがない 【次期総合計画基本計画期間中(～H32)に実施すること】 H28までのホールの解体を見ながら ☆地域との協議～方向性の決定(半年以内) ※廃止に伴い失われる一部の機能は、総合市民会館その他 の施設の利用を検討 ☆基本設計(1年以内) ☆実施設計(2年以内)
							市民活動拠点			
							防災拠点			
		体育館	廃止	解体	A	公民館	●ホールの年間稼働率は50%台で、平日は12:00 ~13:00・16:00~17:00を除いて殆ど利用されている ●ホールの利用は平日の9:00~11:00・13:00~ 15:00・19:00~21:00は100%近い ●ホールの利用は土日恒常的に50%超で、19:00 ~は殆ど利用されている	●ホールの一部が岩国大竹道路建設用地に当たる ⇒H27契約・H28ホール解体 ●広場(駐車場)も買収対象となるので、駐車スペースが少な くなる 【次期総合計画基本計画期間中(～H32)に実施すること】 ☆解体設計(1年以内) ☆地元説明及び利用者調整(2年以内) ※廃止に伴い失われる一部の機能は、旧小方中学校体育 館・総合体育館・小方学園その他の施設の利用を検討 ☆解体(2年以内)		
	市民活動拠点									
	防災拠点									
7	栄公民館	昭和56 ・ 1981	34	当面 存続	方向 性検 討	B	支所	●指定管理者制度を導入可能にしている が市直営で運営 ●公の施設の使用料のあり方に定める 使用者負担割合は50% ●維持管理に係る経費4,835千円に対し、 使用者負担想定額は2,418千円 ●収入額(減免前)は、1,623千円で、使 用者負担想定分の7割近く(67.1%)	●ホールを除く部屋の年間稼働率は10%台まで ●特に稼働率が低調なのは、調理実習室の3%台 までと和室の7%台まで ●時間帯別では、第2研修室は平日19:00~21:00 (約90%)、第1研修室は平日13:00~15:00に利用 が集中 ●ホールの年間稼働率は40%程度で、平日は 10:00~12:00・19:00~21:00に70%を超えるピークが ある ●ホールの土日の利用も同様の傾向にあるが、 ピークの時間帯の巾が長く1時間早くから始まる	●駐車場スペースが少ない ●エレベータがない ●耐震診断をしていない旧耐震の建物 ●設備等の改修時期の検討が必要 ●大竹駅自由通路によりまちのあり方が変わる可能性がある ⇒自由通路が完成した後に再検討の方が合理的
							公民館			
							市民活動拠点			
8	玖波公民館	昭和49 ・ 1974	41	当面 存続	方向 性検 討	B	支所	●市直営で運営 ●公の施設の使用料のあり方に定める 使用者負担割合は50% ●維持管理に係る経費5,553千円に対し、 使用者負担割合は2,777千円 ●収入額(減免前)は、2,144千円で、使 用者負担想定分の8割近く(77.2%)	●施設管理者主催事業が約30%の利用と他の公 民館に比べて高い ●稼働率が、老人集会所と大ホールでは30%前後 の稼働率である。それ以外の部屋は10%未満である ●時間帯によって50%を超えるのは、老人集会所と 大ホール。大ホールと老人集会所ともに、平日 13:00~15:00・19:00~21:00は50%を超えている。 ●土日では、13:00~15:00で老人集会所、19:00~ 21:00で大ホールが50%を超えている。 ●年間稼働率では、大ホールが最高値31.9% (H23) ⇒利用は、運動目的が主である	●エレベータがない ●浸水(0.3~1m)区域(津波ハザードマップ) ●耐震診断をしていない旧耐震の建物 ⇒地域防災計画において防災拠点建築物に指定している場 合はH30.3までに耐震診断を実施する必要がある(広島県耐 震改修促進計画)
							公民館			
							市民活動拠点			
							防災拠点			
							憩の家			

別表:個別施設の方向性

No.	名称	建築年	経過年数 ※2015年 現在	方向性		時期	参考			
							現有機能	管理運営状況	利用状況	●課題・☆検討内容
9	コミュニティサロン栄町	平成8 ・ 1996	19	当面 存続	方向 性検 討	B	市民活動拠点 ●小島地区自治会連合会による指定管理 ●公の施設の使用料のあり方に定める使用者負担割合は50% ●維持管理に係る経費4,955千円に対し、使用者負担想定額は2,477千円 ●収入額(減免前)は、1,532千円で、使用者負担想定分の6割程度(61.9%) ⇒ただし、施設使用料以外の収入が95%を占める	●和室1・2とも年間稼働率は10%に満たない	●大竹駅自由通路によりまちのあり方が変わる可能性がある ⇒自由通路が完成した後に再検討の方が合理的	
10	コミュニティサロン玖波	平成9 ・ 1997	18	当面 存続	方向 性検 討	B	市民活動拠点 ●コミュニティサロン玖波管理運営委員会による指定管理 ●公の施設の使用料のあり方に定める使用者負担割合は50% ●維持管理に係る経費4,109千円に対し、使用者負担想定額は2,055千円 ●収入額(減免前)は、2,018千円で、使用者負担想定分の殆どを満たしている(98.2%) ⇒ただし、施設使用料以外の収入が95%を占める	●多目的室の年間稼働率は20%程度だが、平日の10:00~12:00の利用は50%近い ●和室の年間稼働率は10%に満たない		
11	コミュニティサロン元町	平成6 ・ 1994	21	当面 存続	方向 性検 討	B	市民活動拠点 ●大竹市シルバー人材センターによる指定管理 ●公の施設の使用料のあり方に定める使用者負担割合は50% ●維持管理に係る経費4,525千円に対し、使用者負担想定額は2,055千円 ●収入額(減免前)は、6,706千円で、使用者負担想定分の3倍となっている(296.4%) ⇒ただし、補助金収入が含まれており施設使用料以外の収入が97.9%を占める	●多目的室の年間稼働率の14.1%(H25)が最高値で、その他の部屋は全て10%に満たない ●AVルームの年間稼働率は2%未満と特に低い	●エレベータがない ●駐車場スペースが少ない	

別表:個別施設の方向性

No.	名称	建築年	経過年数 ※2015年 現在	方向性		時期	参考			
							現有機能	管理運営状況	利用状況	●課題・☆検討内容
12	総合福祉センター (サントピア大竹)	平成6 ・ 1994	21	当面 存続	方向 性検 討	B	公民館的 市民 活動拠点 防災拠点	●社会福祉法人大竹市社会福祉協議会による指定管理 ●公の施設の使用料のあり方に定める使用者負担割合は50% ●維持管理に係る経費30,521千円に対し、使用者負担割合は15,261千円 ●収入額(減免前)は、4,665千円で、使用者負担割合を満たしていない。	●稼働率は、ほとんどの部屋が20%未満である。部屋全体の3年平均稼働率は14.4%である ●施設管理者主催事業が利用の約30% ●時間帯によって50%を超えるのは、軽運動室の平日12時から17時だけである ●年間稼働率では、軽運動室が最高値37.4%(H23) ⇒利用は、運動目的が主である	●唯一の福祉目的の施設であるが、部屋の稼働率が低い ●近年、周辺に商業施設が集積しており、今後、大竹駅自由通路が完成するとまちのあり方が変わる可能性が高い ●社会福祉協議会の活動拠点となっており、施設の設置目的等を変更する場合に調整等が必要な場合がある。
13	農林振興センター	昭和56 ・ 1981	34	当面 存続	方向 性検 討	B	支所 公民館 市民 活動拠点 防災拠点	●市直営で運営 ●公の施設の使用料のあり方に定める使用者負担割合は50% ●維持管理に係る経費1,477千円に対し、使用者負担想定額は738千円 ●収入額(減免前)は、88千円で、使用者負担割合の11.9%	●全ての部屋で5%未満の年間稼働率	●旧耐震基準の建築物 ●バリアフリー未対応
14	旧小方中学校体育館	昭和62 ・ 1987	28	当面 存続	改修 検討	A	市民 活動拠点 防災拠点	●中学校が移転後も、教育委員会が管理を続けている ⇒H24年度までは学校開放事業で貸出		●売却を前提とした土地造成特別会計の土地の上にある用途が決まっていない建物 ⇒市利用の場合は土地の購入もしくは借り受けが必要 ⇒設置管理条例がない 【次期総合計画基本計画期間中(～H32)に実施すること】 ☆機能集約対象施設利用者の調整(2年以内) ☆事業(改修)計画の策定(2年以内)
15	参考 自然の家 やさか	昭和63 ・ 1988	27	当面 存続	方向 性検 討	B	集团 宿泊施設	●市直営で運営 ●公の施設の使用料のあり方に定める使用者負担割合は100%	●年間稼働率では、平成23年から平成25年の3年間では、平成23年度の15.2%が最も高く、3年間平均では15%未満となる。 ●部屋の使用状況(宿泊以外)では、集会室兼食堂の稼働率の3年間の最高値が3.3%(H23)であり、他の研修室等で0.3%(H23)であり、ほとんど使われていない。 ●宿泊は、法人・団体の利用が9割以上である。	●廃校に伴い地域の施設として整備したが、現在は地域での管理は行っていない。 ●使えば使うほど赤字がかさむ施設 ⇒目的が達成されるなら赤字でも運営することもできるが、市内の学校の利用はない。
16	参考 海の家 あたた	平成8 ・ 1996	19	当面 存続	方向 性検 討	B	集团 宿泊施設	●市直営で運営 ●公の施設の使用料のあり方に定める使用者負担割合は100%	●年間稼働率では、平成23年から平成25年の3年間では、平成23年度の28.7%が最も高く、3年間平均では20%未満となる。 ●部屋の使用状況(宿泊以外)では、集会室兼食堂の稼働率の3年間の最高値が5.4%(H25)であり他の部屋は0%(使われていない)。 ●宿泊は、法人・団体の利用が8割以上である。	●海端に建設されているため、建物の傷みが早く改修時期を検討する必要がある ●次の管理人候補がない ●宿泊機能は、「自然のやさか」以外では、ここだけであり、利用状況からも宿泊が主な利用となっている ●2年に1回特定の利用者によって1～2ヶ月程度集中的に使われていたが(漁業研修生の統一研修期間用)現在は使われていない。